

神戸市外国語大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(KCUFS-DASH)

外国語 + 数理・データサイエンス・AI = 国際社会で活躍する未来

かつてない勢いで進むDXに対応できる人材が求められるなか、数理・データサイエンス・AIを適切に活用することは、外国語の運用に加え、国際社会で活躍する人材にとって当たり前求められるスキルとなりつつあります。

これからの社会において不可欠な学問領域である、数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することは、本学の理念である「行動する国際人」を養成するために不可欠な要素であると考え、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを設置しました！

キャンパスライフ入門とデータサイエンス入門の単位を修得することで、KCUFS-DASHリテラシーレベルを修了することができます。また、さらに学びを継続したい方には、情報科学概論1～3を履修していただくことをお勧めします。



	必履修・オンデマンド		必履修・対面		オプション
	前期：キャンパスライフ入門		後期：データサイエンス入門		情報科学概論1～3
講義内容	第1回 ガイダンス 第2回 コンピュータ・ネットワーク活用法 メール、ソーシャルメディアの活用 第3回 論文・レポートに関するマナー教育 第4回 就職活動等キャリア形成への支援 第5回 社会における変化を捉える：データとは 第6回 データを使った研究法の基礎 第7回 情報科学のための数学の基礎 (1) 第8回 情報科学のための数学の基礎 (2) 第9回 情報科学のための数学の基礎 (3) 第10回 経済学におけるデータ活用例 第11回 言語学におけるデータ活用例 第12回 データ・AIの活用領域 人文科学におけるデータ活用例 第13回 社会におけるAIの利活用 データ・AI利活用の最新動向 第14回 データ・AIを扱う上での留意事項 第15回 データを守る上での留意事項	講義内容	<予定> 第1回 1-2. 社会で活用されているデータ 第2回 1-4. データ・AI利活用のための技術 第3回 第4回 1-6. データ・AI利活用の最新動向 第5回 第6回 2-1. データを読む 第7回 第8回 2-2. データを説明する 第9回 第10回 第11回 2-3. データを扱う 第12回 第13回 第14回 4-1. 統計および数理基礎 第15回	講義内容	情報科学概論1 2-1. データを読む 2-2. データを説明する 2-3. データを扱う 4-1. 統計および数理基礎 4-3. データ構造とプログラミング基礎 情報科学概論2 4-2. アルゴリズム基礎 4-5. テキスト解析 4-7. データハンドリング 4-9. データ活用実践 (教師なし学習) 情報科学概論3 1-4. データ・AI利活用のための技術 3-1. データ・AIを扱う上での留意事項 3-2. データを守る上での留意事項 4-6. 画像解析

神戸市外国語大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム(KCUFS-DASH)

質保証（自己点検・評価・情報公開）

